



家計に身近で、あたたかいファンドを提供し、世の中のおふくろが幸せな家庭を育むことを支援していきます！



ファンドも1つにするの？

この度の合併に際し、様々な方々からご意見やアドバイスを頂戴しました。その中で一番多かったのは、「ファンドも一つにするのでしょ！？」というものでした。

確かに、当ファンドとかがいたくファンド、らくちんファンドの3つは、同じファンドも組み入れているファンド・オブ・ファンズであるし、純資産の規模も基準価額もどんぐりの背比べ。1本にまとめた方が、何かと経済的です。相乗効果を狙うなら、債券だけに投資するファンド等、新たなファンドを設定する方が戦略的だというご指摘も頂きました。

でも私は、最初から「3つのファンドであるべきだ」と考えていました。なぜなら、3つのファンドは、長期保有に耐えられる本格的なファンドを待望する本来運用とはまったく縁の遠かった人々（一般市民あるいは学校の先生など）が、力をあわせて本気で作ったファンドばかりだからです。

しかも、困難を乗り越えて誕生したファンドですから、それぞれには、あふれんばかりの想いが詰まっています。熱い想いは、“ファンドを丁寧に大切に育てていかなアカン！！”こんな気持ちの原動力にもなっています。

金融業界のことを知り金融商品もよく勉強している人からみると、実に、バカバカしいかもしれません。しかし、そもそも「投資信託は、小口資金しか持たない一般市民のための財産作りの道具」という原点にたてば、3つのファンドは本来の姿を地でいっていると私には思えるのです。

まだまだ小さなファンドですが、その輪が広がって、やがて大きな流れになって日本を元気にする…こんな壮大な夢をふくらませつつ、クローバー・アセットマネジメントでは、ファンドが健やかに、のびのび育ってくれる豊かな土壌作りをするべく、日々の業務を誠心誠意頑張っています。

これからも、よろしく願いいたします！



夢はふくらんで

社内でも育ててきた胡蝶蘭()、昨年と比べて20日も早く開花しました！…といっても、咲いたのはこの1輪だけ。* ぶり返した寒気に震えながらも元気に、* 「さあ、春ですよ～」と私たちを激励してくれているかのようです！

(他のつぼみは、まだ堅い…)



活動のご報告 太閤園でブース&セミナー

明治時代の関西財界の重鎮・藤田傳三郎(藤田財閥の創立者)が淀川畔に築造した邸宅や庭園を利用して、昭和34年にオープンした都会のガーデンレストランが太閤園。四季折々に美しい表情をたたえる庭園と由緒ある* たたずまいは、来る人々の心をなごませてくれています。* そんな会場で、イベントがあり、弊社はセミナーとブースで参加いたしました。セミナーは、事前に参加証を交付されている方対象の「あと5万円！自分年金の作り方教えます」でした。ブースに来られた方々に、手作りのライフイベント表や費用一覧などをお渡しして、“大阪には、おふくろファンド”があります、よろしく～と、地元で開いているセミナーをご案内したり、投資信託って？等々を説明したりして、充実の6時間半を過ごしました。

改めてですが、大阪のご婦人方のパワーはすごい！！* 参加した他のブースの中には、行けば試供品をゲットできたり、肌年齢を測定してもらえる体験コーナーもあり、総来場者2690人を前にして、ふう～っとなる瞬間もあり(トホホ…)、もっともっと体力つけなきゃ！！まだまだ、パワーが足らん！こんなことを学べた貴重な1日でした。

代表取締役社長 石津 史子



PTAハサリの乗り？で
いる背面を飾りました

このレポートは、浪花おふくろ投信からの情報提供を目的として浪花おふくろ投信が作成したものです。このレポートに記載されたグラフ、図表、数値、経済見通しその他のいかなる内容も作成日時点のものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。浪花おふくろファンドにかかるリスク、コストについての詳細、お申込み方法等については投資信託説明書(交付目論見書)および約款・規程集、弊社ホームページ(<http://www.728ofukuro.co.jp>)をご覧ください。投資については、ご自身でご判断ください。

浪花おふくろ投信株式会社 金融商品取引業者 近畿財務局(金商)第242号 社団法人投資信託協会会員





おふくろ目線で企業をwatching

～どんな会社に投資しているのか、もっともっと知りたい！～

組入れファンドの月次報告書より抜粋してみました

第19回は「エア・ウォーター」です

～TMA 長期投資ファンドの月次報告書より～

おふくろファンドは TMA 長期投資ファンドを通じてエア・ウォーターに投資しています。



心も空気もピュア(純粋)に限るわぁ～。

ファンドマネージャー・コメント

TMA 長期投資ファンドは、投資先の企業が「どんな会社なのか？」という、受益者の皆さんの疑問に答えるために、主たる投資先企業を紹介しています。TMA 長期投資ファンドが、どのように投資先企業に魅力を感じているかという点を紹介することで、受益者の皆さんが、よりよく当ファンドの投資姿勢を納得していただけたら幸いです。なお、下記コメントは TMA 長期投資ファンドの基準日(10.2.26)現在の組入れ銘柄の紹介であり、将来変更する可能性があります。また、特定の銘柄の投資勧誘を目的として作成したものではありません。

今回の企業は、日本を代表する産業用ガス企業「エア・ウォーター」です。この産業用ガスは、エネルギー源としての天然ガスのことではなく、酸素や窒素といった空気に由来するものであり、各種産業の加工過程で使用される素材で、製造現場では必要不可欠なものなのです。

例えば、鉄を作る製鉄所では鉄鉱石を高温で燃焼し溶かす必要があります。その際に、燃焼効率を向上させるために高濃度の酸素が必要になります。さらに、質の高い自動車ボディ用の薄板に加工する場合には、高純度のアルゴンや窒素ガスも必要となるため、わが国の鉄鋼、自動車産業にとっては、純度の高い産業用ガスが安定的に供給されることが求められています。また、エレクトロニクス製品のコアとなる電子部品(半導体、液晶パネルなど)の製造過程では、その精密さが故に不純物の混在は許されません。他のガスや物質と反応しにくい高純度の窒素ガスは、精密電子部品の製造過程で不純物を除去する大切な役割を担っています。

エア・ウォーターをはじめとする産業用ガス企業は、各種産業の工場内、もしくは工場隣接地に産業用ガス供給設備を建設し、ガスの安定供給の役割を担っています。注目すべきは、産業用ガス企業の業

績は、顧客である鉄鋼、自動車、エレクトロニクス産業などの業績に左右されるものの、顧客の工場と一体になっているため、一度構築した顧客との関係が続く限り、過大な競争にさらされにくいという特徴がある点ではないでしょうか。

ガスの供給は、産業分野ばかりではなく、医療分野においても必要不可欠なものとなっています(医療用ガス)。無菌な人工空気を供給できる人工空気製造装置(液化ガスを混合する装置)を病院の敷地内に設置し、一般病室だけでなく、手術室、集中治療室(ICU)への「空気まわり」の設備を一まとめにして提案するなど、呼吸器疾患などの治療で鍵を握る医療用ガスの供給を、エア・ウォーターは担っています。中でも、エア・ウォーターの特筆すべき点は、独自開発した高効率小型 VSU(液化酸素・液化窒素製造装置)を全国 8 拠点に設置することにより、これまで大規模プラントから長距離輸送されていた液化ガスを全国に分散しています。これにより、タンクローリー輸送距離を短縮し CO2 排出削減に貢献するとともに、災害時の交通インフラ混乱に左右されにくくなり、中断が許されない医療現場への医療用ガス供給の持続可能性を高めています。

このようにエア・ウォーターは、産業界や医療現場の裏方を請け負う仕事人という役割を担い、その社名の通り「空気や水のように」、ガステクノロジーを基盤に地球資源(空気などのガス、海水)を活用し、世の中に欠かせない役割を果たしているのです。

参考資料 1: エア・ウォーター株式会社「環境・社会報告書 2009」

http://www.awi.co.jp/environment/pdf/2009/all_awi_esr2009.pdf

参考資料 2: エア・ウォーター株式会社「アニュアルレポート 2009 [事業報告] (日本語版)」

http://www.awi.co.jp/ir/library/pdf/annual09_business.pdf

このレポートは、浪花おふくろ投信からの情報提供を目的として浪花おふくろ投信が作成したものです。このレポートに記載されたグラフ、図表、数値、経済見通しその他のいかなる内容も作成日時点のものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。浪花おふくろファンドにかかるリスク、コストについての詳細、お申込み方法等については投資信託説明書(交付目論見書)および約款・規程集、弊社ホームページ(<http://www.728ofukuro.co.jp>)をご覧ください。投資については、ご自身でご判断ください。

浪花おふくろ投信株式会社 金融商品取引業者 近畿財務局(金商)第242号 社団法人投資信託協会会員





お客さまからよくあるご質問にお答えいたします

～最近よくあるお問い合わせについて取り上げてみました～

Q. おふくろファンドは3月3日に決算と聞きました。何か書類など届きますか？

A. おふくろファンドは3月3日に決算を迎えました。法令に基づき、投資信託は決算期末ごとに運用報告書の作成が義務づけられていますので、3月末におふくろファンドのお客さまに運用報告書を郵送いたします。

運用報告書は決算時点での投資信託の状況を報告するので、決算日にお客さまの手元に届くわけではなく、作成に要する時間を経て、お客さまに届けられます。

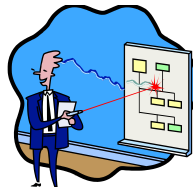
Q. 運用報告書で何が分かりますか？

A. 投資信託は、目論見書に「どのような運用を行う投資信託なのか」ということを記載し、運用報告書で「目論見書にうたった投資方針に従って、どのような運用を行ったのか」を説明しています。ファンドの実績やどのように運用しているのか（運用方針通りに運用されているか）といったお客さまが知りたい情報が盛り込まれています。すべての項目ではありませんが、おふくろファンドの運用報告書から、押さえて頂きたい項目を紹介したいと思います。



< 運用報告書の内容はこうなっています！！ >

設定以来の運用実績
設定以来の各期末および当期中の毎月末の基準価額などが記載されています。



当期中の基準価額等の推移
当期中における基準価額、主要な運用対象資産の構成比率、純資産総額の推移等を月末単位で表示しています。

組入資産の明細
おふくろファンドに組入れられている4ファンドの保有口数と、その評価額、組入比率を記載しています。

設定来の運用状況と今後の運用方針
最初に設定来純資産総額・組入れファンド時価・基準価額の推移が掲載されています。当期の概要と基準価額の動きに影響を与えた要因を説明し、期間内の市場の様子や、その環境下でどのように運用したのか、今後の運用方針について記載しています。
この項目は特に重要なので、しっかり読んでいただきたいです。

資産、負債、元本状況・損益状況
投資信託受益証券およびコールローン等の資産や負債の内訳、純資産総額、純資産総額を受益権総口数で除した基準価額が記載され、ファンド全体の状況がわかります。
損益状況については、ファンド全体の収益・損失を配当等収益、有価証券売買損益等に分けて記載されているので、どのような項目から収益が上がったのかが分かります。



お手元に運用報告書が届きましたら、以上の点を参考に読んでいただければと思います。もし、ご不明な点などございましたら、お気軽に **06-4790-6200** までお問い合わせ下さいね。（浪花おふくろファンドの内容に関するお問い合わせ先は、4月以降はこちらです）
このコーナーは、増田希望が担当いたしました

このレポートは、浪花おふくろ投信からの情報提供を目的として浪花おふくろ投信が作成したものです。このレポートに記載されたグラフ、図表、数値、経済見通しその他のいかなる内容も作成日時点のものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。浪花おふくろファンドにかかるリスク、コストについての詳細、お申込み方法等については投資信託説明書（交付目論見書）および約款・規程集、弊社ホームページ（<http://www.728ofukuro.co.jp>）をご覧ください。投資については、ご自身でご判断ください。

浪花おふくろ投信株式会社 金融商品取引業者 近畿財務局（金商）第242号 社団法人投資信託協会会員

